

Q&A よくあるご質問

＜質問 1＞ 実技試験と筆記試験に関連したカリキュラムの修了時期が異なるため、実技試験と筆記試験は、時期をずらして実施してもよいのか。例えば、実技試験は 2 学年の前期、筆記試験は 3 学年の後期に実施することは可能か。

＜回答 1＞ 可能です。実技試験と筆記試験は、同じ時期に実施しなくても大丈夫です。資格登録書類は、実技・筆記の両試験が合格した段階で送付します。（片方のみ受験の場合は可否結果通知のみが送付されますが、この段階では資格登録はできません）

＜質問 2＞ GFI 資格認定試験は、単位取得を見込める段階で受験可能とのことだが、単位を取得した後にその証明書を提出するのか。それとも履修すればよく、単位取得（履修）証明書の提出は必要ないのか。

＜回答 2＞ GFI 資格養成校の申請時にご提出いただくシラバスに沿って、在学中に履修されることを前提としていますが、単位取得（履修）証明書の提出は求めておりません。

＜質問 3＞ 必修単位を満たしていない学生が GFI 資格認定試験に合格したが中途退学した場合、どうなるのか。

＜回答 3＞ 合格した学生が在学中に資格登録を行えば、退学しても資格は有効といたします。なお、合格しても登録手続きを行っていない場合は、資格が付与されたことにはなりません。

＜質問 4＞ 自校では未登録の種目を系列校が登録している場合、学生を系列校に赴かせて受験させることはできるでしょうか。

＜回答 4＞ 登録していない種目は受験できませんが、登録している種目であれば、系列校に限らず他校に赴いて受験することは可能です。その場合、受験者数の確認や会場費の負担等は、養成校間、試験官（GFI エグザミネーター）で調整をしてください。また、JAFA 事務局から合同試験を相談させていただく場合もあります。将来的には、複数の養成校・養成機関が一堂に会して受験できる制度を構築したいと考えています。

＜質問 5＞ 「I」レベルの実技試験が保留になった場合、実技教員による補講を行うことで「I」レベルの合格認定となるのでしょうか。

＜回答 5＞ 「I」レベルの実技試験再評価は GFI エグザミネーターが行います。「I」レベルに達しない場合は、養成校の実技教員が学内補講を実施、または GFI エグザミネーターによる保留補講を実施して合格レベルまで引き上げ、再受験を実施してください。（P53～P55 参照）

＜質問 6＞ 来年度、初めて GFI 養成校に登録しますが、合格させられるか不安です。GFI エグザミネーター派遣など特別講座（試験対策）を行った場合の謝金は学校負担になりますか。

＜回答 6＞ 初めて試験を実施する養成校へは、JAFA の費用負担にて特別講座（試験対策）を実施することができます。カリキュラムを履修の上、特別講座の受講をお勧めいたします。実技担当教員の先生方もぜひ受講してください。

＜質問 7＞ コロナ禍においてオンライン（オンデマンド、LIVE 配信）を使用して GFI を養成することは問題ないでしょうか？試験はオンラインで対応していないでしょうか？

＜回答 7＞ 実技・実習は「対面」で行うことが原則ですが、コロナ禍で通学が限られるなどの場合は、種目およびレベルに応じてオンラインと、ソーシャルディスタンスの対面授業の併用でお願いします。実技試験も「対面」の実施を原則としますが、オンライン（LIVE 配信）で実施をご希望の場合は JAF 事務局までご連絡ください。

筆記試験 例題 《解答》

科目	例題 1	例題 2	科目	例題 1	例題 2
フィットネス基礎理論	4	3	グループエクササイズ指導理論	3	1
AD 指導理論	3	3	RE 指導理論	4	3
SE 指導理論	2	3	WE 指導理論	4	2
AQW 指導理論	3	4	AQD 指導理論	4	4